

第3回 新県民体育館整備等基本計画検討会 次第

日時：令和7年10月22日（水）13:30～16:00

場所：高知会館3階「飛鳥」

1 開会

2 議事

（1）施設全体構成案

- ア 第2回検討会における意見への回答
- イ 高知市教育委員会の要望と県の対応（考え方）
- ウ スケジュールの変更
- エ サブアリーナの規模の違いによる比較
 - ・機能相関図
 - ・年間利用シミュレーション
 - ・利用者数と観光消費額の比較

3 その他報告事項

（1）事業手法の検討計画及び意向調査計画

- ア 民間活力導入可能性調査
- イ サウンディング調査計画

4 閉会

【添付資料】

【議 事】

(1) 施設全体構成案

ア 第2回検討会における意見への回答【資料1】

資料1-1 「第2回新県民体育館整備等基本計画検討会」における意見と事務局の回答

資料1-2 新県民体育館メインアリーナの観客席数のイメージ

資料1-3 オープンハウス

資料1-4 整備の基本的な考え方

イ 高知市教育委員会の要望と県の対応（考え方）【資料2】

資料2-1 アスパルこうちグラウンドを新県民体育館整備に活用する場合の要望

資料2-2 高知市教育委員会の要望と県の対応（考え方）

ウ スケジュールの変更【資料3】

資料3 今年度のスケジュールについて

エ サブアリーナの規模の違いによる比較【資料4】

資料4-1 配置シミュレーション

資料4-2 機能相関図

資料4-3 年間利用日数シミュレーション（開館初期）

資料4-4 年間利用日数シミュレーション（充実期）

資料4-5 利用者数と観光消費額の比較

【その他報告事項】

(1) 事業手法の検討計画及び意向調査計画【資料5】

資料5 事業手法の検討計画及び意向調査計画

第3回 新県民体育館整備等基本計画検討会 委員一覧

(五十音順)

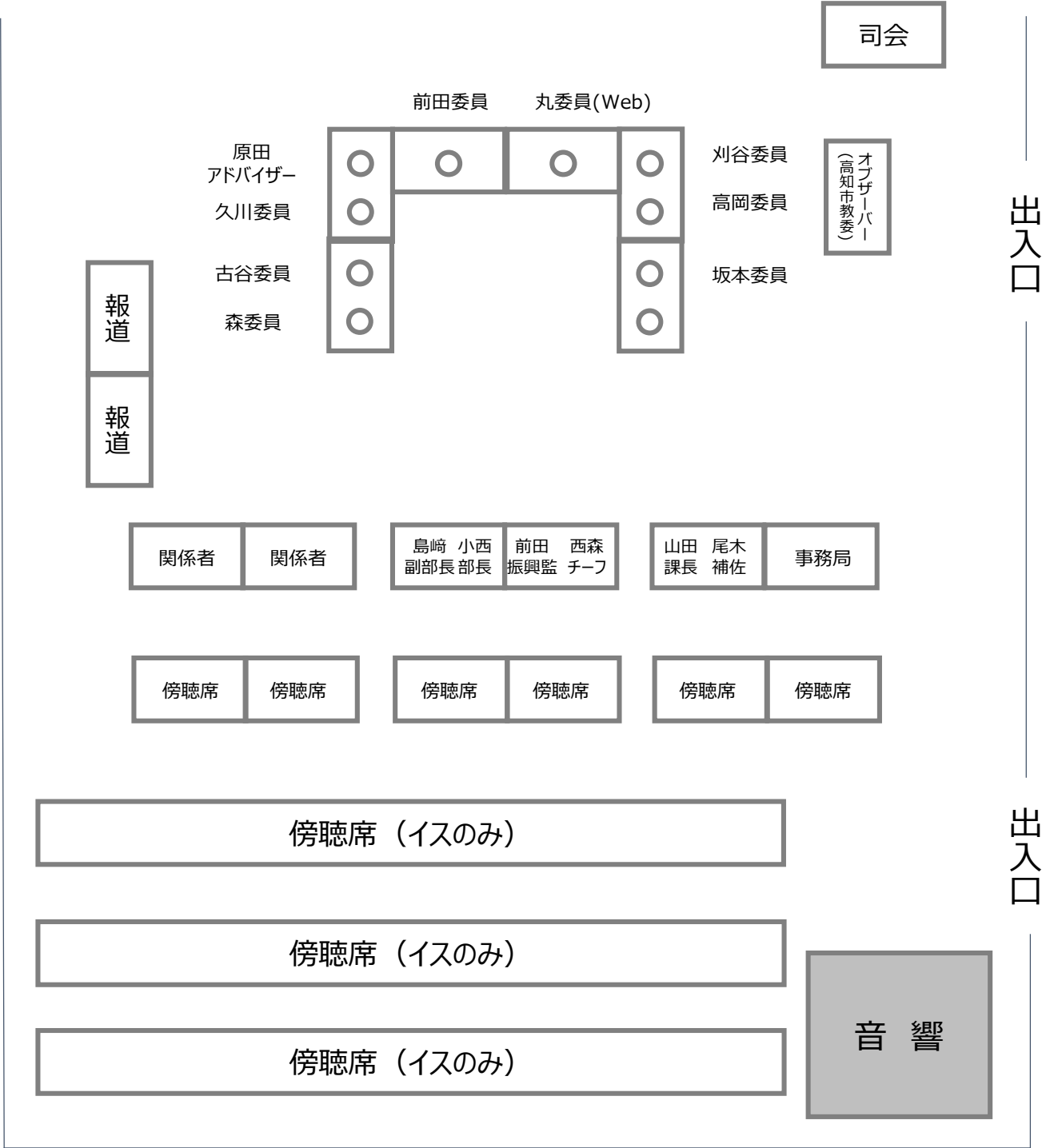
【 委 員 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	刈谷 好孝	公益財団法人高知県スポーツ協会 専務理事	競技スポーツ	○	
2	寛藤 次男	高知県柔道協会 会長	武道	×	
3	坂本 淳	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 講師	防災	○	
4	高岡 幸史	高知市文化観光スポーツ部 部長	自治体 (文化・観光・スポーツ)	○	
5	玉乃井 欣樹	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 理事	コンサート	×	
6	久川 俊秀	高知市文化プラザかるぽーと 館長	文化	○	
7	古谷 純代	高知商工会議所 副会頭	商工	○	
8	前田 和範	高知工科大学経済・マネジメント学群 講師	スポーツマネジメント (アリーナ、Bリーグ)	○	
9	丸 朋子	大阪成蹊大学経営学部スポーツマネジメント学科 講師	スポーツビジネス・産業 (エンターテインメント)	○	Web参加
10	森 恒一郎	土佐経済同友会 観光推進委員会委員長	観光	○	
11	渡邊 英孝	高知県立障害者スポーツセンター 所長	障害者スポーツ	×	

【 アドバイザー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	原田 宗彦	学校法人浪商学園 理事・大阪体育大学学事顧問	スポーツマネジメント	○	

【 オブザーバー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	竹内 清貴	高知市教育委員会事務局 教育次長	教育	○	

第3回 新県民体育館整備等基本計画検討会

配席図



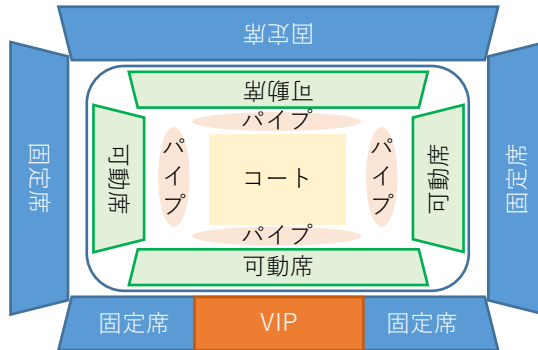
「第2回新県民体育館整備等基本計画検討会」における意見と事務局の回答

資料1 - 1

No.	委員等からの意見	事務局の回答
1	観客席の規模については、固定席、可動席の席数が示されているとわかりやすい。	別添「資料1-2」のとおり。
2	市民や県民に対してニーズ調査は行うのか。	・県民体育館の再整備について、県民体育館の利用者（競技場、プール）に対してアンケートを行い、「新しい県民体育館に期待すること」や「改善してほしいこと」などの声を聞き取っている。 ・基本計画の案は、案が固まる前にパブリックコメントを行い、県民の皆さまから広くご意見をいただき計画に反映することを考えている。 ・県民体育館がある潮江地区連合会の役員の方々とも意見交換を行っている。 ・別添「資料1-3」のような「オープンハウス」と呼ばれる手法も検討している。
3	ワークショップのような市民県民と一緒に考えていくことも重要。	例えば、旅行会社や商工会議所などの関係者らとワークショップを行い、アリーナを核とした「まちづくり」などをテーマにアイデアを出し合い、関係機関同士の連携を深め、機運の醸成を図る取組の実施を検討する。
4	ぢばさんセンターで行っているイベントを新県民体育館で開催できれば、アクセスもよくまちづくりとしても経済効果は間違いないと思う。	新しい県民体育館のメインアリーナにおいて、現在ぢばさんセンターで開催している大規模展示会等の開催が可能か、ぢばさんセンターを所管する高知県産業振興センターや県の商工労働部とも協議していく。
5	競技ごとにコートの取り方によって必要面積や有効席数が変わってくる。整理したうえで、検討をしてみしてほしい。	別添「資料1-2」のとおり。
6	次の段階では、メインやサブアリーナの年間利用可能な日数がわかれば、各競技団体はイメージができると思う。	議事（1）エの年間利用シミュレーションのとおり（別添「資料4-3」）。
7	障害者のプール利用について、身体的な部分を見せることになるので、利用時間帯等を調整するなどの一般利用者と区別が必要ではないか。	・更衣室は、男女に加えて、異性介護が可能な家族更衣室（多目的更衣室）を設けることを検討する。 ・障害のある方のサークルの団体利用を、一般利用と時間帯を分ける運営方法を検討する。
8	半面は土のグラウンドを残してほしい。仮に半面を新県民体育館が使用した場合でも、その半面分のグラウンドを屋上人工芝等で補填してほしい。	議事（1）イで高知市教育委員会からの要望と県の対応（考え方）で報告。
9	アスファルトのグラウンドを利用している高校の部活動に配慮し、旧高知南中・高校のグラウンドの優先利用をさせてほしい。	No.8の回答のとおり。
10	駐車場が少なすぎるのではないかと感じる。垂直方向の検討（立体駐車場や地下）も必要では。	・来館者には基本的には公共交通機関の利用を促すことを想定しているが、立体駐車場や地下駐車場の選択肢も含め、駐車場台数をより多く確保できる方法を検討していく。なお、県民体育館の周辺の徒歩20分圏内に有料駐車場が約350台、旧高知南中・高グラウンドに約1,000台駐車できる広さがあり、大規模イベント時にはそれらの活用を促すことも想定している。
11	将来的な収益の見込み等がデータで表せたら良い。	基本計画に盛り込み、今後の検討会において示す予定。
12	運営方法を視野に入れた整備の検討ができれば、施設の方向性が決まり、案が絞れると思う。	11月初旬に県内企業を対象としたPFIに関する勉強会、11月中旬以降勉強会に参加した企業を対象にサウンディング調査を行う予定であり、新しい県民体育館の規模や機能について民間企業等から意見をもらうことを考えている。
13	基本方針に関して、（4）のシビックプライドを（1）にもってくるのはどうか。スポーツをしない人にとってもなじみやすいようなものしていく必要があるのではないか。	「シビックプライドの拠点」を「まちづくりの拠点」へ文言変更し、基本方針の一つ目に位置付けた。（別添「資料1-4」参照）
14	シビックプライドという言葉はなじみがないかもしれないので、言葉を換えて打ち出していけばいいのでは。	No.13の回答のとおり。
15	コンサートを開催したことを想定すると、案の「憩いの場」に観客が行列を作ることになるが、スペース的に対応できないと思う。	コンサート開催時などの観客の待機場所や動線について、設計段階で適切に盛り込む。

新県民体育館メインアリーナ 観客席数のイメージ（最大座席数を5,000とした場合（オープンハウスアリーナ太田を参照））

Bリーグ

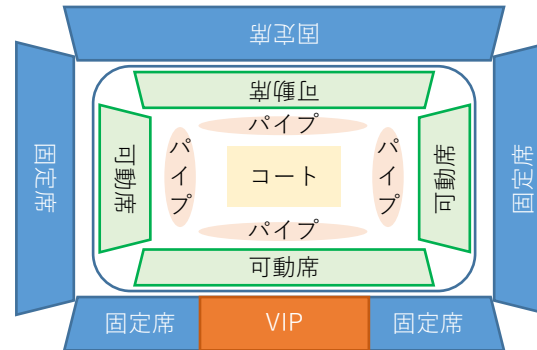


VIP（来賓）席： 100席
 固定席： 2,700席
 可動席： 1,800席
 パイプ椅子： 300席
 その他※： 100席

※立見・車いす席 など

合計： 5,000席

SVリーグ



VIP（来賓）席： 100席
 固定席： 2,700席
 可動席： 1,800席
 パイプ椅子： 300席
 その他※： 100席

※立見・車いす席 など

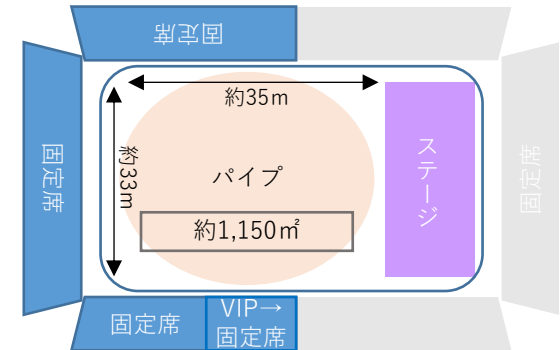
合計： 5,000席

Bリーグよりもコート面積が小さいため、施設の最大規模の座席を用意。



パイプ椅子などで、コート際の観客数を増やせるかもしれないが、段差がないため、見にくくなり、あまり効果はないと推察。

コンサート



VIP（来賓）席： 50席★
 固定席： 1,200席
 可動席： 0席
 パイプ椅子： 2,300席★★
 その他※： 50席

※立見・車いす席 など

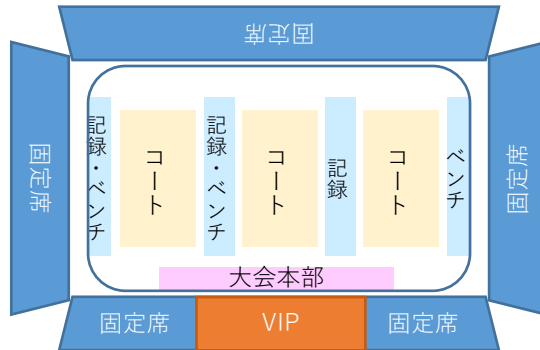
合計： 3,600席

- ★ 各種大会等ではVIP席であるが、コンサート時には、固定席の1種として利用。（座席は普段はVIP用の席のため、一般の固定席よりは、座席の質は良い。）
- ★★高知市火災予防条例により、0.5㎡/人として整理。

注）可動席とは壁面収納できるロールバックチェアを想定。

新県民体育館メインアリーナ 観客席数のイメージ（最大座席数を5,000とした場合（オープンハウスアリーナ太田を参照））

バスケット（全国大会）

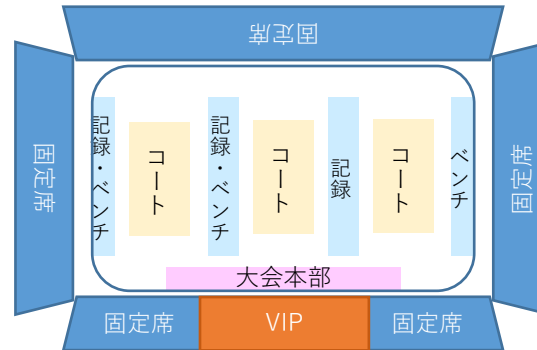


VIP（来賓）席： 100席
 固定席： 2,700席
 可動席： 0席
 パイプ椅子： 0席
 その他※： 100席

※立見・車いす席 など

合計：2,900席

バレー（全国大会）

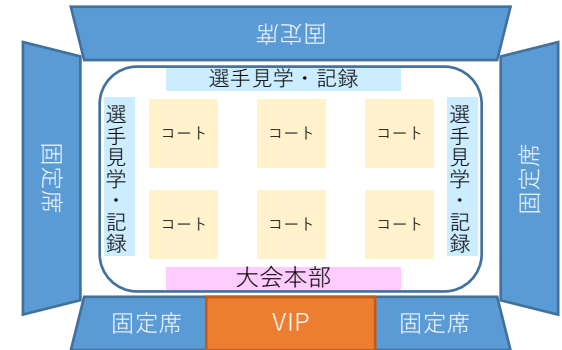


VIP（来賓）席： 100席
 固定席： 2,700席
 可動席： 0席
 パイプ椅子： 0席
 その他※： 100席

※立見・車いす席 など

合計：2,900席

柔道（全国大会）



VIP（来賓）席： 100席
 固定席： 2,700席
 可動席： 0席
 パイプ椅子： 0席
 その他※： 100席

※立見・車いす席 など

合計：2,900席

基本的に2階以上の固定席のみの利用。
 車いす席や立見席も2階に設けることを想定。

注）可動席とは壁面収納できるロールバックチェアを想定。

ご意見をお聞かせください

府中市

「新しい総合体育館基本構想」策定に向けて

オープンハウス開催概要

日時 7月1日(火) 午前10時
～7月5日(土) 午後5時
※7月1日午前10時から5日午前10時までは、職員は常駐しておりません。

会場 府中市立(郷土の森)総合体育館
1階 エントランスホール

日時 7月2日(水)・3日(木)
午前10時～午後5時 ※両日とも

会場 フォーリス
1階「光と風の広場」

日時 7月6日(日) 午前10時
～7月10日(木)
※7月6日午後5時から10日午前10時、

会場 府中市生涯学習セン
1階 体育施設入

【問合せ】
文化スポーツ部スポーツタウン担当
TEL:042-335-4488 Email:taikou01@

1 府中市立(郷土の森)総合体育館とは？



老朽化が大きな課題

築年数(竣工年度)	55年(昭和46年度) ※第一体育室棟
延床面積	13,228㎡(地下2階、地上3階)
主な諸室	・第1体育室(観客席928席) ※第一体育室棟 ・第1武道場 ・弓道場 ・相撲場 ・レクリエーションホール ・トレーニング室 ・ミーティングルーム ・第2体育室(観客席158席) ・第2武道場 ・エアリアル場 ・卓球室 ・幼児体育室 ・会議室(3室)
運営	直営

2 総合体育館は移転します！

◎これまでの経緯

- ◆府中基地跡地留保地利用計画(令和2年2月策定) ※令和7年度に改定
総合体育館の移転が決定
- ◆第7次府中市総合計画(令和4年3月策定) ※市の最上位計画
重点プロジェクトとして、総合体育館移転関連事業を位置付け
- ◆第2次府中市スポーツ推進計画(令和4年3月策定)
【基本構想】総合体育館の移転(建て替え)の検討
新しい総合体育館の検討において、トップチームの観戦・応接環境の整備のほか、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、新たな市民ニーズなどに応じて必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などを検討

◆府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画(令和6年10月策定)

- 総合体育館
府中基地跡地留保地、平和の森公園及び生涯学習センター跡地にまたがるように整備
- 生涯学習センター
・体育機能：総合体育館に統合
・学習機能：中央文化センターの建て替えに合わせて、機能連携・統合
・宿泊機能：廃止
・生涯学習センター図書室：総合体育館と統合して整備
・既存の建物は解体



3 新しい総合体育館の整備を目指して

◎これからの取組

現在 市民の皆さんがより身近にスポーツを楽しめる環境を目指し、新しい総合体育館の整備に向けた基本構想の策定を進めています。

【基本構想(=施設のあり方)策定の進め方】
基本構想は下記の進め方で、皆さんからのご意見も含めて「新しい総合体育館のあり方」をまとめていきます。



【検討の基本的な考え方】
・新総合体育館の規模・機能やあり方については、以下に示す4つの基本的な考え方に基づき、検討していきます。

- 統合と複合化
留保地に隣接する生涯学習センターの体育機能を統合するとともに、併設している図書機能を複合化します。
- 「みる」スポーツ
競技などの「する」スポーツだけでなく、スポーツをしない人でも楽しむことができるよう、トップチームなどの新・応接環境を検討します。
- 防災機能の強化
災害時に必要な機能を導入し、防災機能を強化することで、安心・安全な施設を目指します。
- 多様な利用
新たな市民ニーズなどに応じた必要な機能の整理し、より多くの人たちに利用してもらえる施設を目指します。



5 シールを貼ってください！(その1)

Q1 新しい総合体育館は、どのようなことができたら使ってみたいですか？		
01 現在やっているスポーツの大会ができる	この特内にシールを貼ってください	
02 気軽に運動やスポーツができる	この特内にシールを貼ってください	
03 天候に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	この特内にシールを貼ってください	
04 いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	この特内にシールを貼ってください	
05 自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	この特内にシールを貼ってください	
06 スポーツ観戦ができる	この特内にシールを貼ってください	
07 コンサートや演劇を見られる	この特内にシールを貼ってください	
08 eスポーツの大会に参加、観戦ができる	この特内にシールを貼ってください	
09 専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	この特内にシールを貼ってください	
10 自分に合う運動やスポーツを見つけてくれる	この特内にシールを貼ってください	
11 その他	この特内にシールを貼ってください	

6 シールを貼ってください！(その2)

Q2 新しい総合体育館に欲しい機能を教えてください。		
01 レストラン、カフェ等の飲食スペース	この特内にシールを貼ってください	
02 コンビニエンスストア、売店	この特内にシールを貼ってください	
03 ジム、トレーニングルーム	この特内にシールを貼ってください	
04 鏡がついているスタジオ(フィットネス・ダンスルーム等)	この特内にシールを貼ってください	
05 屋内ランニングコース	この特内にシールを貼ってください	
06 着替えや荷物の預け入れができるスペース	この特内にシールを貼ってください	
07 待ち合わせや休憩ができるスペース	この特内にシールを貼ってください	
08 勉強や読書、会議ができるスペース	この特内にシールを貼ってください	
09 屋内のキッズスペース(託児スペース含む)	この特内にシールを貼ってください	
10 その他	この特内にシールを貼ってください	

4 他自治体の参考事例

新しい総合体育館のあり方についてご意見をお聞かせください！

新しい総合体育館でこんなことができた行ってみたい、欲しい機能について右にあるパネルにシールを貼ってください！

【他施設で導入されている機能の事例】
・近年整備される体育館は、競技スポーツをするための機能だけでなく、多様な利用に対応した機能が導入されています。



出所 | 府中市新総合体育館基本構想策定に向けたオープンハウス『みらい創造プロジェクト』新しい総合体育館を一緒に考えよう！パネル内容／府中市

基本理念

誰もがスポーツの楽しさや感動を得られ、プロスポーツやエンタメ、文化などを通じたまちづくり・地域活性化の拠点となる施設整備を行います。

基本方針

（１）まちづくりの拠点

県民や県外から来られた方が親しみ、愛着を持ち、交流人口や関係人口の拡大につながる、まちづくりやコミュニティの形成のハブとなる施設を目指します。

（２）スポーツ振興の拠点

県民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ施設として多世代の交流を促すほか、若い世代のアスリートの育成や県民のニーズに合ったスポーツを「する」ことができる施設を目指します。

（３）にぎわいの拠点

プロスポーツのハイレベルな試合を観戦することにより憧れや感動を抱かせ、スポーツを「みる」という文化を定着させます。

また、コンサートや展示会などの様々な催しが開催されることで、県外から多くの方が本県を訪れ、飲食や宿泊、観光産業が潤い、地域活性化につながっていくことを目指します。

（４）安心・安全な拠点

県民の誰もが使いやすく安全・安心な施設となるように、ユニバーサルデザインを取り入れた施設とします。

また、災害等が発生した場合において、施設利用者の一時避難が可能な施設とします。

整備方針

（１）メインアリーナとサブアリーナを備え、「スポーツ」×「エンタメ」を実現し、多目的に活用できる施設として整備

【メインアリーナ】床仕様は土間コンクリートとし、競技大会の際は木製フローリングパネルを設置

【サブアリーナ】床仕様は木製フローリング床

（２）プロスポーツのレギュレーションやコンサート等の興行に適した規模・機能の整備

（３）老若男女、特に若者や子どもが集い、多世代で楽しみ、交流できる憩いの空間や現状以上の駐車場の整備

（４）県立武道館の老朽化に伴い、武道館を移転・集約化し、新たな機能を備えた施設として整備

（５）収益性の向上を図り「稼げる」施設となるよう、諸室の効率的な運用や飲食スペースの設置などが可能な整備

（６）ユニバーサルデザインに対応した整備

（７）災害時の避難機能を備えた整備

（８）県の財政状況も踏まえ、コスト圧縮や国の有利な起債なども積極的に活用



出所 | オープンハウスアリーナ太田（太田市総合体育館）／
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000083048.html>

(1)土のグラウンドを少なくとも半面残すこと

【教育支援センター】・【学びの多様化学校】

- ・ 豊かな教育を展開するために必要不可欠な空間。
- ・ 光や風の流れの確保。
- ・ 火災時の避難場所。

【青年センター】

- ・ 青少年の仲間づくりのためのスポーツ活動の場、地域住民との連携交流の場の確保。
- ・ 屋上に人工芝が設置された場合でも、現状グラウンドで行っているサッカー等の活動ができるか不明。

(2)教育支援センター・学びの多様化学校の活動のための屋外スペースや自然体験の機会の確保

- ・ グラウンドが減少した面積分、新県民体育館の屋上部分等に人工芝を敷設し、優先的に利用できるようにすること。
- ・ 教育的配慮を必要とする子供たちが安心して活動できるよう、他団体との共用ではなく、優先的に使用できる時間帯・曜日の確保。

(3)自然環境を生かした学びと情緒安定の場づくり

- ・ 子供たちの情緒の安定や学習意欲の向上につなげられるよう、土や草木、虫などに直接ふれられる環境を残していただきたい。
- ・ 建物周囲に緑を植えるなど、安らぎを感じられる空間づくりを行っていただきたい。

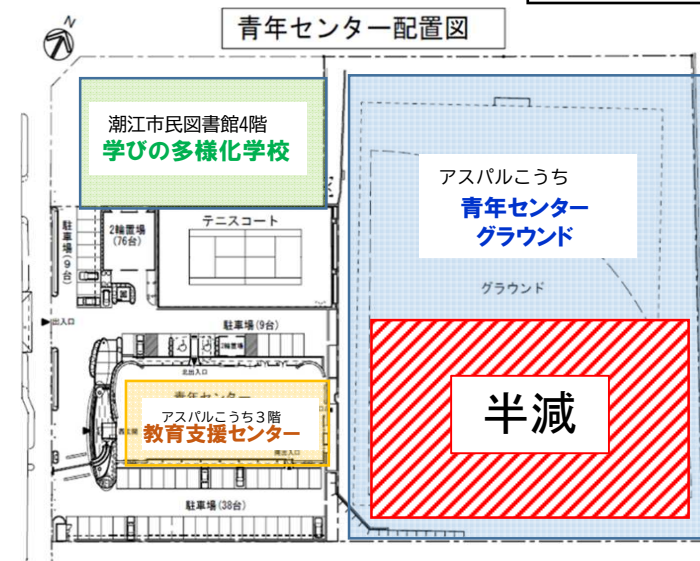
(4)グラウンド全面を利用する利用者団体への代替場所の確保

- ・ 夜間利用可能な代替場所の確保。

(5)運営ルールの柔軟な見直しと継続的協議の仕組み

- ・ 運用開始後も、教育委員会と施設管理者が定期的に協議し、利用実態に応じて柔軟なルール変更や改善を行える体制を整えていただきたい。

(6)新県民体育館の再整備に伴い支障となるアスパルこうちグラウンド照明柱やフェンスの整備(移設や新設)



青少年の活動や仲間づくりの場、多様な子どもたちの育ちを支える場としてふさわしい環境となるよう、教育の視点に立った慎重な計画と継続的な配慮を求める。

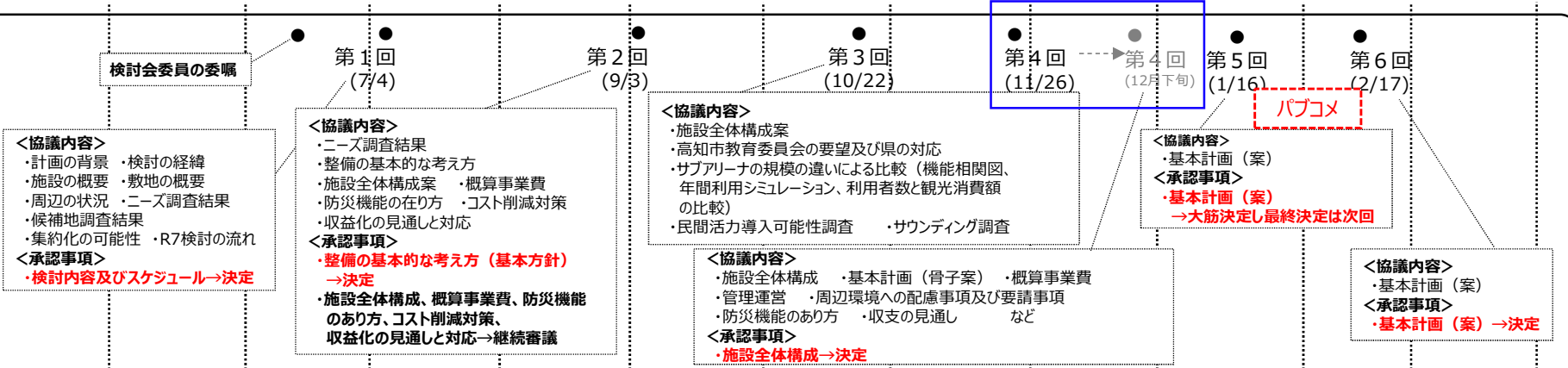
■ 新県民体育館の整備にあたり、アスパルこうちのグラウンド（敷地）を活用させていただく場合は、高知市教育委員会が要望する「教育的な配慮」について、**最大限の配慮を行うこととして基本計画に盛り込み、設計段階で具体的な内容を反映させる。**

No.	高知市教育委員会からの要望(令和7年10月1日)	県の対応（考え方）
1	土のグラウンドを少なくとも半面残すこと	アスパルこうちのグラウンドの活用について、今後の検討会の意見を踏まえ、隣接する教育施設の機能を生かせるよう配慮も行った上で、スポーツ、文化、観光、経済の観点からの総合的な判断をお願いする
2	教育支援センター・学びの多様化学校の活動のための屋外スペースや自然体験の機会の確保	グラウンドを活用する場合は、代替施設として、その使用面積相当分をサブアリーナ等の屋上部分に人工芝などの活動ができるスペースを設置することを想定。 新県民体育館がオープン後は、高知市の教育施設を利用する子どもたちが優先的に使用する運用ルールを定める
3	自然環境を生かした学びと情緒安定の場づくり	新県民体育館の憩いの場やその他のスペースにおいて、緑や花壇など自然植栽の設置に配慮
4	グラウンド全面を利用する利用者団体への代替場所の確保	高知市の教育施設に通う児童・生徒が学校行事等でグラウンドが必要な場合には、旧南中高グラウンドを優先的に使用できるように運用ルールを定める
5	運営ルールの柔軟な見直しと継続的協議の仕組み	新しい県民体育館がオープンした後も施設管理者と高知市教育委員会が定期的に協議の場を持つこととする
6	新県民体育館の整備に伴い支障となるアスパルこうちグラウンド照明柱やフェンスの整備（移設や新設）	夜間照明については、旧南中高グラウンドへの照明柱の移設や新設までは考えていないが、グラウンドの一部を照らし、夜間でも一定活動ができるように整備を検討。 フェンスについては、新県民体育館と高知市の教育施設との敷地の境に設置の必要性を判断

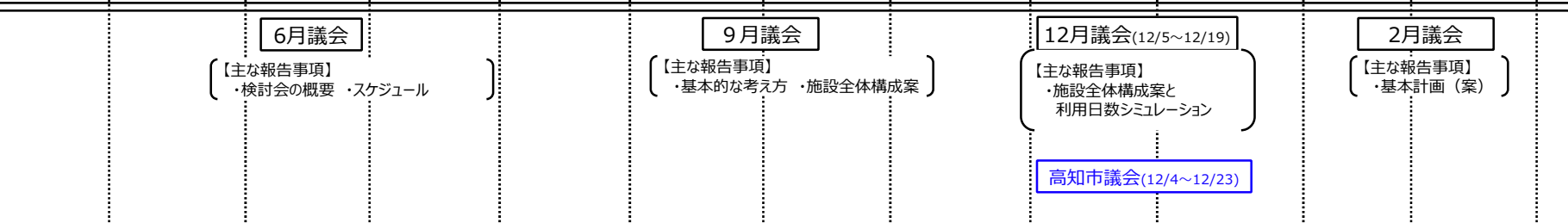
「新県民体育館整備等基本計画検討会」の今年度のスケジュールについて

資料 3

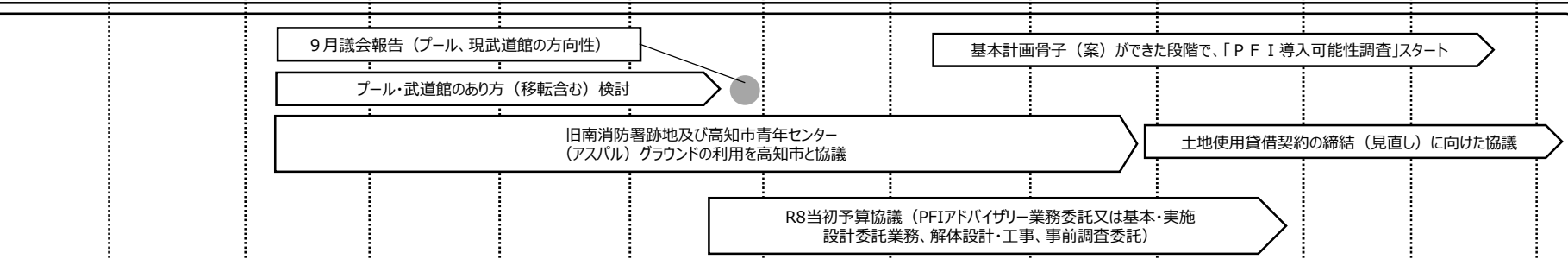
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

基本計画
検討会基本計画
策定委託
業務

議会



検討事項



各施設の規模想定

- 【メインアリーナ】
・観客席5,000席 ・床面積9,900㎡（参考：OPEN HOUSE ARENA OTA 太田市総合体育館）
- 【サブアリーナ】
次の2パターンを検討 床面積：①4,900㎡、②1,050㎡
①バスケコート2面+観客席1,000席 ⇒競技大会を主にサブアリーナで開催
②バスケコート1面のみ ⇒競技大会を主にメインアリーナで開催
- 【武道館】
現況の武道館の試合場の規模を想定（観客席：300~400席）
4面の場合：2,100㎡ 3面の場合：1,650㎡
- 【プール】
現況プール（25m×8コース）
床面積：1,050㎡
- 【駐車場】 現況（82台）以上

シミュレーションにおける考え方

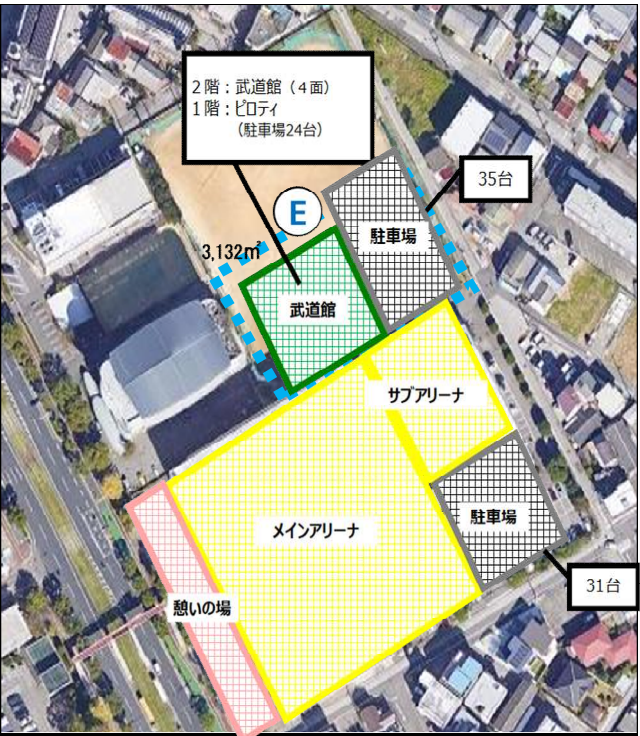
- 敷地面積は①現有地のみ、②現有地+南消防署跡地、③現有地+南消防署跡地+アスバルこうちのグラウンドの3つの想定で検討
- メインアリーナとサブアリーナを必須、武道館は試合場（4面又は3面）を想定
- プールは日常使いが主な用途であるため、優先順位は**武道館>プール**

現施設の概要

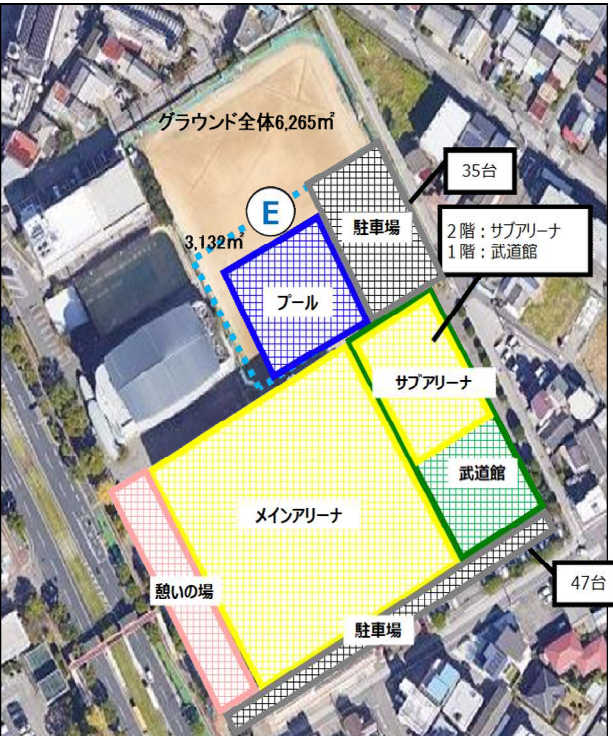


敷地面積	現有地（10,714㎡） 体育館（A）プール（B）駐車場（C）
	南消防署跡地（D） （1,304㎡）
	アスバルこうちグラウンド（E） （半面程度：3,132㎡）
合計 15,150㎡	
施設の概要	【主競技場】観客席1,572席（固定） バスケ2面、バレー3面、 バドミントン10面、卓球36面 など
	【補助競技場】 バスケ1面、バレー1面、 バドミントン3面、卓球16面
	【プール】 25m×8コース
	【駐車場】 82台 【憩いのスペース】 なし

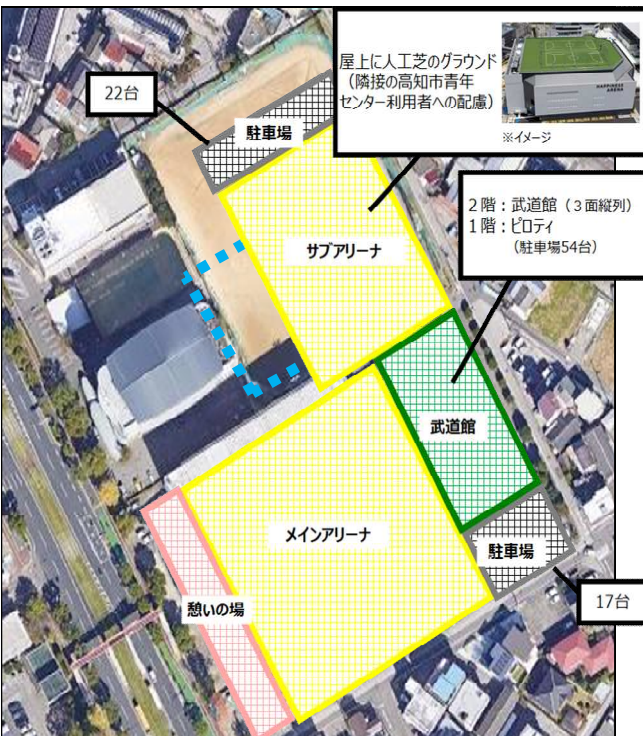
案① サブアリーナ（バスケコート1面）



案② サブアリーナ（バスケコート1面）&プール



案③ サブアリーナ（バスケコート2面+観客席）



案④ サブアリーナ（バスケコート1面）



検討結果

- 様々な配置シミュレーションの中から、県から上記4案を検討会に提案
- 現有地のみ敷地では、新しい県民体育館に必要な機能・規模を満たす配置は困難
⇒ 南消防署跡地とアスバルこうちのグラウンドを含めた敷地で、配置候補を選定

評価

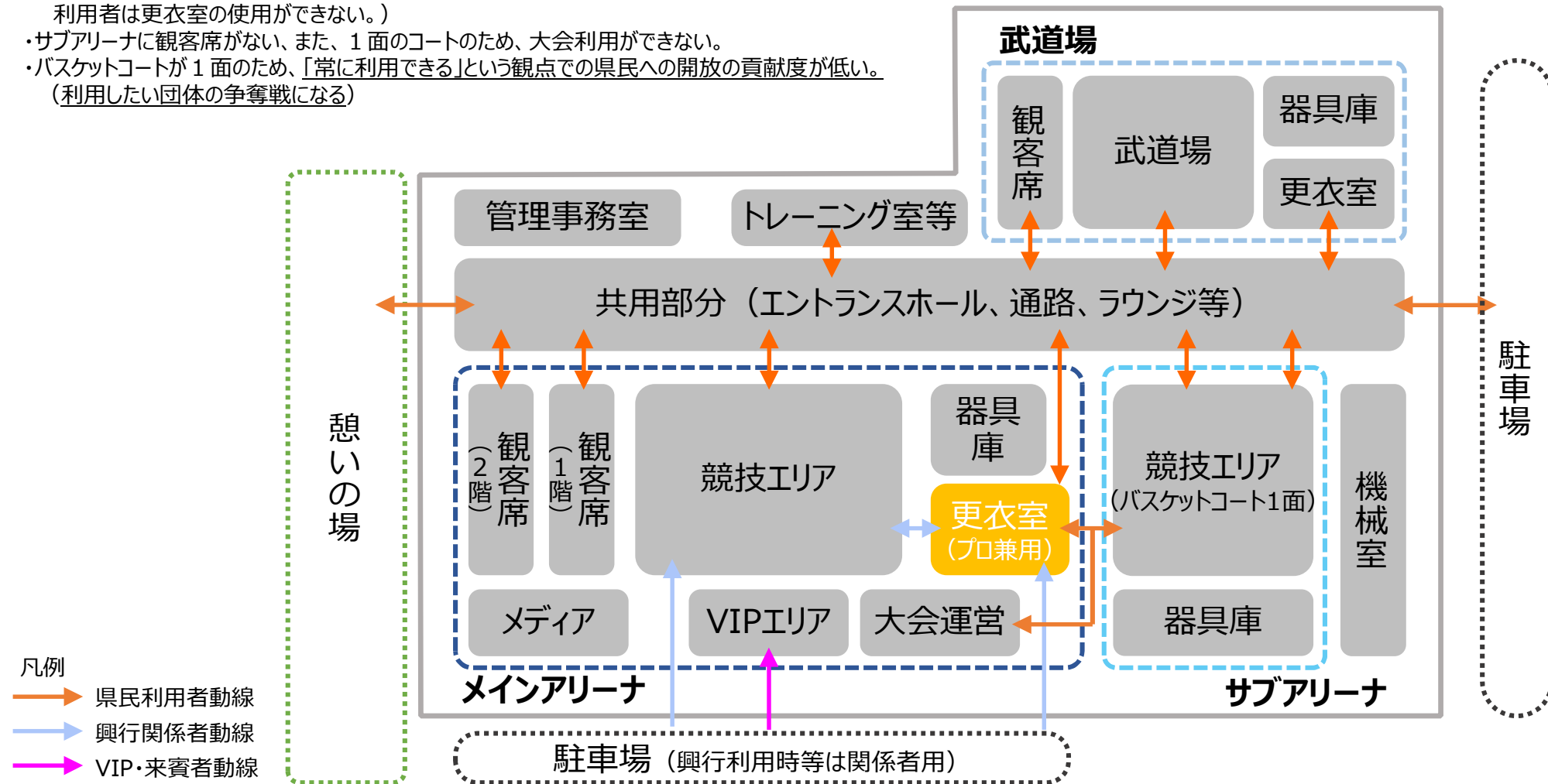
- 案①、案②、案④は、サブアリーナがバスケコート1面で観客席は確保できず、**競技大会はメインアリーナで開催する必要がある**
- 案③は、サブアリーナで**バスケコート2面**がとれ、**競技大会は主にサブアリーナで開催できる**
- 案①～③は、アスバルこうちのグラウンドを使用することとなり、**グラウンドの代替となる屋上施設の整備や、整備にあたり教育的な配慮を行う必要がある**

パターン① メインアリーナ+サブアリーナ（バスケットコート1面（観客席無））+ 武道館（3面）

■機能相関図 メインアリーナに付帯するサブアリーナ ※配置案①のイメージ

特徴

- ・メインアリーナを興行利用等で使用中は、サブアリーナ利用者の更衣室の使用が限定される。
（興行利用の内容にもよるが、興行関係者が更衣室を使用している場合は、県民（一般）利用者は更衣室の使用ができない。）
- ・サブアリーナに観客席がない、また、1面のコートのため、大会利用ができない。
- ・バスケットコートが1面のため、「常に利用できる」という観点での県民への開放の貢献度が低い。
（利用したい団体の争奪戦になる）

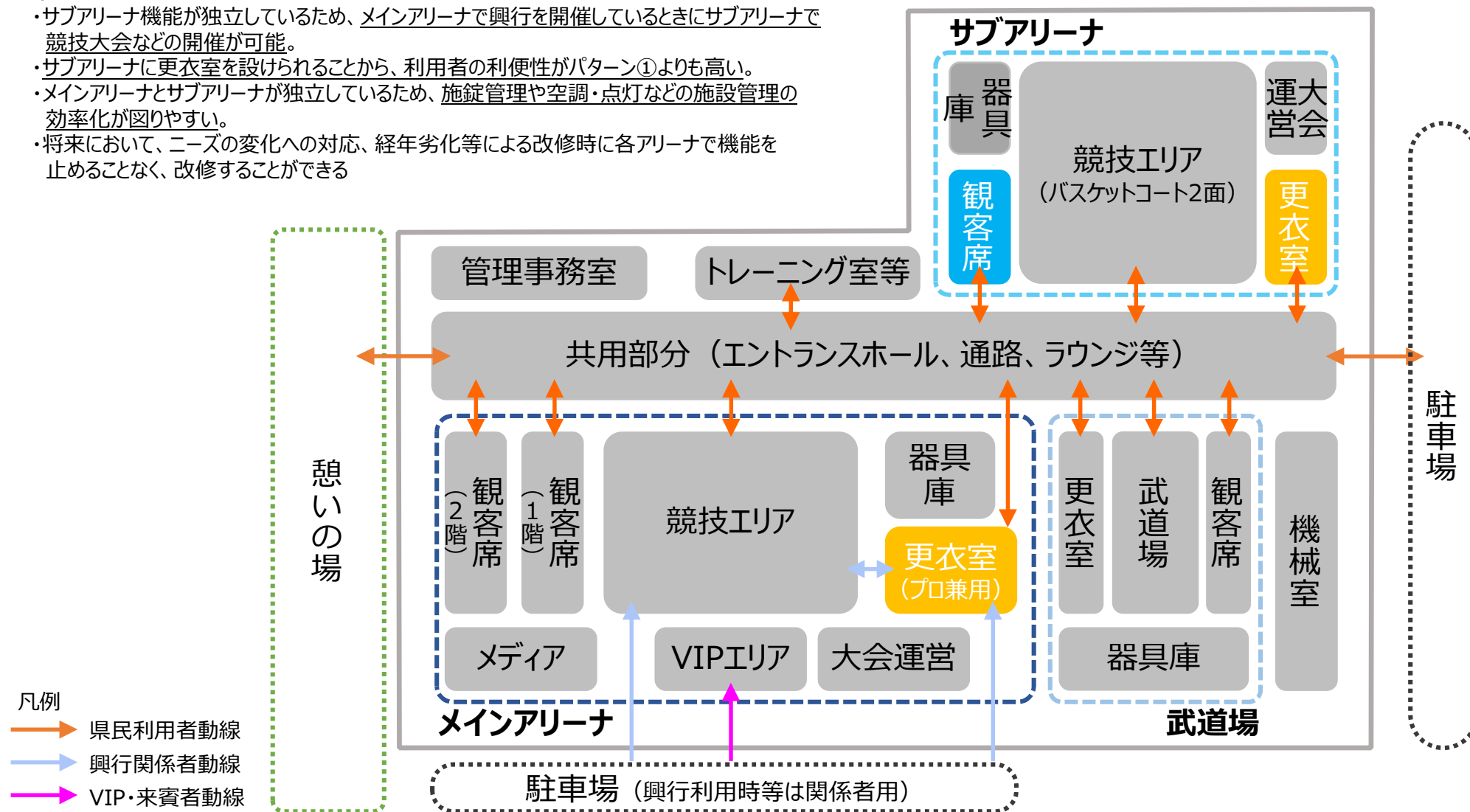


パターン② メインアリーナ+サブアリーナ（バスケットコート2面（観客席有）+更衣室）+武道館（3面）

■機能相関図 メインアリーナから独立して利用できるサブアリーナ ※配置案③のイメージ

特徴

- ・サブアリーナ機能が独立しているため、メインアリーナで興行を開催しているときにサブアリーナで競技大会などの開催が可能。
- ・サブアリーナに更衣室を設けられることから、利用者の利便性がパターン①よりも高い。
- ・メインアリーナとサブアリーナが独立しているため、施錠管理や空調・点灯などの施設管理の効率化が図りやすい。
- ・将来において、ニーズの変化への対応、経年劣化等による改修時に各アリーナで機能を止めることなく、改修することができる



メインアリーナとサブアリーナの年間利用シミュレーション（開館初期）

資料 4 - 3

※R7年度利用予約ベース

【現県民体育館（主競技場＋補助競技場）】							
主競技場（バスケ2面）				補助競技場（バスケ1面）			
用途	平日	土日祝	合計	用途	平日	土日祝	合計
競技大会	22	88	110	競技大会	2	19	21
プロスポーツ	1	0	1	プロスポーツ	0	0	0
エンタメ（興行）	0	0	0	エンタメ（興行）	0	0	0
MICE（展示会・見本市など）	5	2	7	MICE（展示会・見本市など）	0	0	0
文化・その他	28	15	43	文化・その他	0	2	2
合計	56	105	161	合計	2	21	23

年間日数 246 119 年間日数 246 119

開館日数 242 117 開館日数 242 117

【新県民体育館（サブアリーナがバスケットコート1面の場合）】							
メインアリーナ（バスケ3面）				サブアリーナ（バスケ1面）			
用途	平日	土日祝	合計	用途	平日	土日祝	合計
競技大会	22	88	110	競技大会	2	19	21
プロスポーツ	11	10	21	プロスポーツ	0	10	10
エンタメ（興行）	4	2	6	エンタメ（興行）	2	1	3
MICE（展示会・見本市など）	5	2	7	MICE（展示会・見本市など）	0	0	0
文化・その他	28	15	43	文化・その他	0	2	2
合計	70	117	187	合計	4	32	36

年間日数 246 119 年間日数 246 119

開館日数 242 117 開館日数 242 117

＜利用日数の見込み方＞

用途	サブアリーナがバスケットコート1面の場合	サブアリーナがバスケットコート2面＋観客席の場合
競技大会	・現在の主競技場で行っている競技大会は、メインアリーナで開催する想定。	・現在の主競技場で行っている競技大会は、サブアリーナで開催すると仮定。実際には、メインアリーナで開催することも可能。 ・新たに開催を狙うアマチュア競技の全国大会や若者の関心が高いアーバンスポーツの大会やイベントはメインアリーナで開催。
プロスポーツ	・年間の土日祝日における、現在の主競技場において大会やイベント等が開かれていない日（計12日。R7年度ベース）のうち、プロスポーツの試合を開催する日数を10日と想定。	・開館初期に県内にバスケットボールやバレーボールなどのプロスポーツチームが誕生しているかは未定であるため、本県のアリーナを「第二のホームアリーナ」として使うことも視野に入れて年間15試合程度のBリーグやSV・Vリーグの試合の開催を想定。 ⇒仮にBリーグ（B.Next）に参入するチームが県内にできた場合、ホームゲーム26試合のうち60％（16試合）以上をホームアリーナで行う必要がある。
エンタメ（興行）	・年間の土日祝日における、現在の主競技場において大会やイベント等が開かれていない日（計12日。R7年度ベース）のうち、プロスポーツの試合を10日開催するとした場合、残りの日でコンサートを開催すると想定。	・全国の観客席2,500～5,000席規模のアリーナ・体育館におけるライブエンタメ（コンサート）の年間開催日数の平均値（4日）を計上。
MICE（展示会・見本市など）	・現在の県民体育館で行っている大規模展示会の回数を想定。	・現在の県民体育館で行っている大規模展示会に加え、高知ぎばさんセンター大ホールで開催している展示会等の回数（R6年度ベース）を想定。
文化・その他	・現在の県民体育館で行っている文化・その他イベントの回数を想定。	・現在の県民体育館で行っている文化・その他イベントの回数を想定。新たによさこい祭り等の文化系イベントの開催が期待できるが、開催は未定なので想定回数には含まない。

分析	○サブアリーナがバスケットコート1面の場合は、現在の県民体育館で開催している競技大会を新しい県民体育館でも開催する方針から、 プロスポーツや興行の開催を増やす余地は極めて少ない 。また、 展示会や見本市等のMICEの開催に充てられる日数も限られる 。	○サブアリーナがバスケットコート2面＋観客席の場合は、 展示会や見本市等のMICEの開催に十分な日数を確保できる上に 、メインアリーナにおける土日祝の稼働日に50日程度（117－68＝49）の余裕があるため、 プロスポーツや興行の開催日数をさらに増やすことが可能 。また、 競技大会をサブアリーナではなくメインアリーナで行うことも可能 。
----	---	--

＜用途の詳細＞ ※赤字は新しい県民体育館での開催が期待できるもの
【競技大会】 ○現在の県民体育館で行われているもの 高校総体県予選、中学総体県予選、四国中学総体、定時制通信制高校体育大会、県民スポーツフェスティバル、その他バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、剣道など各競技団体が主催する大会 など ○新しい県民体育館で開催が期待できるもの アマチュア競技の全国大会、 アーバンスポーツ（BMX、スケボー、ダンス等）の大会・イベント
【プロスポーツ】 バスケットボールのBリーグ、バレーボールのSVリーグ・Vリーグ、大相撲、プロレス など
【エンタメ（興行）】 音楽コンサート など
【MICE（展示会・見本市等）】 県主催産業技術展、企業見本市、輸入車・中古車販売会、アニメイベント など
【文化・その他】 よさこい祭り、入学式・卒業式、学園祭、観光イベント、成人式、選挙、研修、体育祭 就職フェア、就職説明会、企業説明会 など

メインアリーナ・サブアリーナ（バスケット2面・観客席）の年間利用日数シミュレーション（充実期）

：新たに開催が期待できるイベント・大会

メインアリーナ				
区分	内容	平日	土日祝	合計日数
競技大会	全国高等学校総合体育大会			
	全国中学校体育大会			
	四国高等学校選手権大会			
	四国中学校総合体育大会			
	アマチュア競技全国大会			
	アーバンスポーツ大会・イベント			
	計	9	36	45
プロスポーツ	Bリーグ（バスケットボール）	27	26	53
	SV・Vリーグ（バレーボール）	5	4	9
	大相撲巡業	2	1	3
	プロレス巡業		1	1
	格闘技大会・イベント			
	計			66
イベント 興行	音楽コンサート	16	8	24
	大道芸フェス			
	サーカス巡業			
	ファッションイベント			
	計			24
大規模 展示会 等	県主催産業技術展			
	企業見本市			
	輸入車販売会			
	中古車販売会			
	アニメイベント			
	...			
	その他MICE（大規模）			
	計	38	26	64
文化系 イベント ・ その他	高知市成人式			
	就職ガイダンス等			
	よさこい祭り			
	入学式・卒業式			
	学園祭			
	観光イベント			
	計		15	15
合計		97	117	214
開館日数		242	117	359

サブアリーナ				
区分	内容	平日	土日祝	合計日数
競技大会	卓球ジュニア国際オープン大会			
	県民スポーツフェスティバル			
	西日本勤労者剣道大会			
	四国バスケット黒潮新人交流大会			
	ミニバス冬季大会			
	春季バレーボール大会			
	高体連さつき杯			
	春季・夏季・秋季・冬季卓球大会			
	剣道錬成大会			
	高校冬季バレー			
	四国大学バスケットボール大会			
	...			
	...			
	計	15	56	71
イベント 興行	音楽コンサート	4	2	6
	計			6
プロスポーツ	Bリーグ（バスケットボール）		13	13
	SV・Vリーグ（バレーボール）		2	2
	計			15
中規模 展示会 等	企業イベント			
	就職合同説明会			
	その他MICE（小～中規模）			
	計	31	24	55
文化系 イベント ・ その他	選挙			
	授業 等			
	研修			
	体育祭 等			
	よさこい練習			
	計	28	18	46
合宿	大学合宿			
	計		2	2
合計		78	117	195
開館日数		242	117	359

＜充実期のアリーナのイメージ（目指す姿）＞

○競技大会は、メインアリーナ又はサブアリーナで開催が可能。四国大会や全国大会につながる競技の県大会はメインアリーナで行う、あるいは県予選の決勝戦のみをメインアリーナで行うなど、メインアリーナが競技者にとって「特別・憧れ・思い出」の地となる運用方法も考えられる

○これまで開催ができなかったアマチュア競技の全国大会や、若者の関心が高いアーバンスポーツ（BMX、スケボー、ダンスなど）の大会やイベントが開催される

○県内にBリーグに所属するチームが誕生し、プロスポーツの開催・試合観戦が県民の日常的な娯楽の一つとなり、アリーナで感動や熱狂が体験できる

○展示会や見本市などのMICEは規模に応じて、メインアリーナとサブアリーナのいずれかで開催

○メインアリーナでよさこい踊りを披露するイベントを開催するなど、高知県ならではの文化を発信する

新しい県民体育館の施設全体構成案による利用者数と観光消費額の比較（推計）

資料 4 - 5

	メインアリーナ&サブアリーナ（バスケット1面のみ）&武道館	メインアリーナ&サブアリーナ（バスケット2面+観客席）&武道館	
第2回検討会における配置案	配置案①、案②、案④	配置案③	
アスファルトグラウンドの使用	半面又は使用なし	ほぼ全面	
スポーツ・競技	・競技大会は主にメインアリーナで開催 ・現在の県民体育館とほぼ同じような使い方 ・興行と予定が重複する場合に、興行を優先すると競技大会が開催できない可能性	・競技大会は主にサブアリーナで開催しつつ、規模や競技によってはメインアリーナでも開催可能 ・現在の県民体育館（主競技場）で開催している競技大会に加え、これまで開催できなかった全国規模のアマチュア大会やプロスポーツの試合を開催できる可能性	
興行	・現在の県民体育館で開催している競技大会を優先する方針から、新たなコンサート等の興行やプロスポーツの試合、大規模展示会等を開催する余地は極めて小さい	・競技大会を主にサブアリーナで開催していくこととなれば、コンサート等の興行やプロスポーツの試合、大規模展示会等の開催を徐々に増やしていくことが可能。	
防災機能	アスファルトグラウンドを使う面積相当分の代替施設をサブアリーナの屋上に設置する場合、屋上に一定の避難スペースを設けることが可能	左記の避難スペースをより広く確保できるため、利用者や地域住民の一時緊急避難をより多く受け入れることが可能	
フェーズ	開館初期～充実期	開館初期	充実期
利用者数 （年間推計）	約173,400人	約255,000人	+約5万人 約304,000人（※）
（参考） 現在の利用者数	159,983人 〔 県民体育館104,543人+武道館55,440人 ※R6年度実績 〕	237,983人 〔 県民体育館104,543人+武道館55,440人+ちばさんC大ホール約78,000人 ※R6年度実績 〕	
県外観光客がもたらす観光消費額 （推計）	約5億1千2百万円 〔 173,400人のうち県外客数は約22,800人と推定 22,800人×22,452円＝ 511,905,600円 〕	約12億9千8百万円 +約3億円	約15億9千4百万円 255,000人のうち県外客数は約57,800人と推定 57,800人×22,452円＝1,297,725,600円 304,000人のうち県外客数は約71,000人と推定 71,000人×22,452円＝1,594,092,000円

（参考） 高知ちばさんセンター R6利用者数	約78,000人
------------------------------	----------

【観光消費額の求め方】

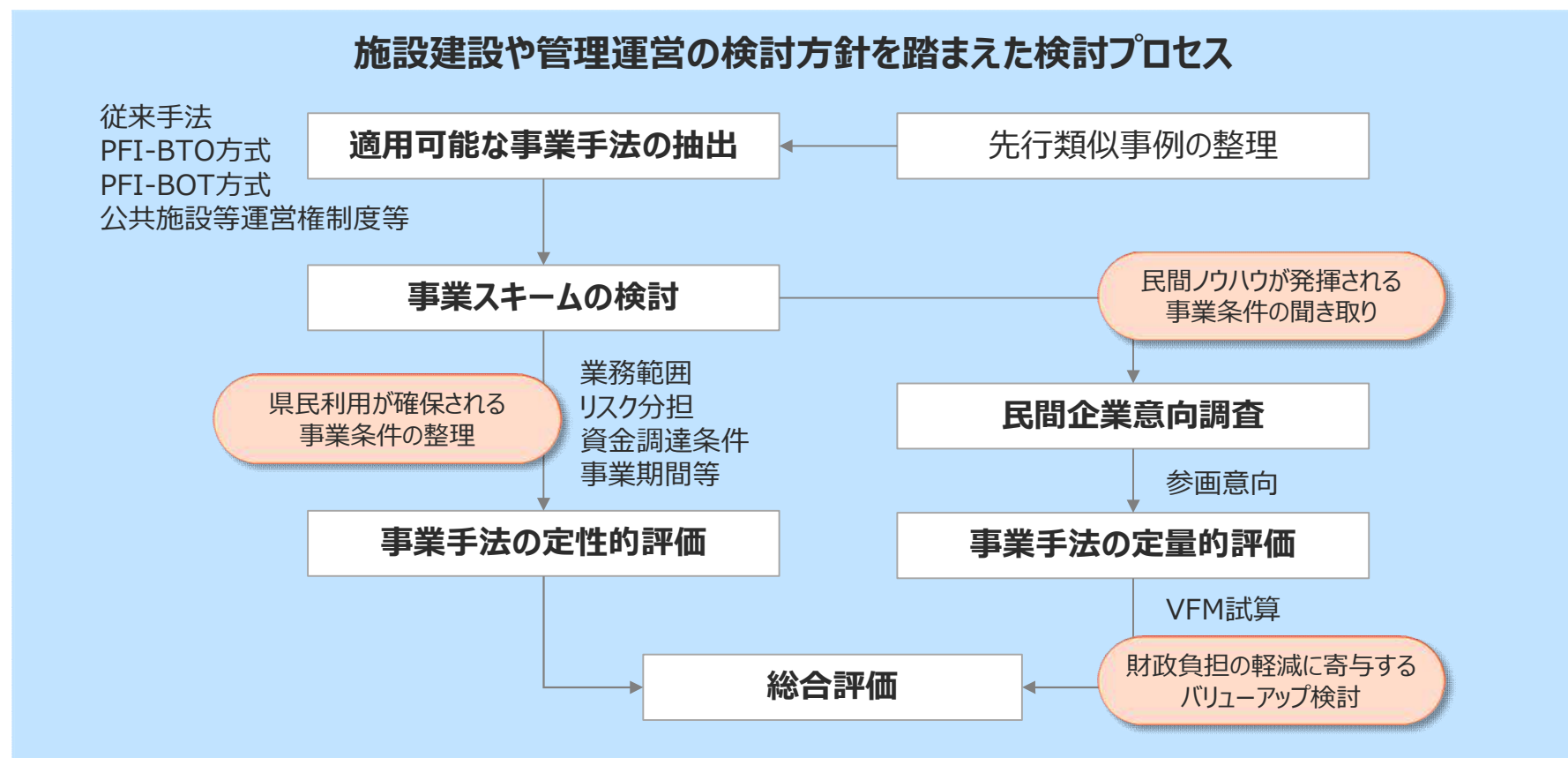
利用者数のうち、県外客数を推計し、県外観光客1人当たりの消費額を乗算
 <令和6年県外観光客入込・動態調査報告書（プロスポーツキャンプ等調査）より>
 ○県外観光客1人当たりの消費額 22,452円
 ○県外客：県内客＝45.8％：54.2％ ⇒音楽コンサートやMICEの来場者における県外観光客の割合に使用

※充実期の考え方
 将来的に県内にバスケットボールのBリーグ（B.Next）に所属するチームが生まれ、ホームアリーナとして活用することを想定した推計人数。
 ⇒開館初期の使われ方のままでは現状と比べ利用者数の大幅な増は見込めないため、将来的には県内にプロスポーツチームが生まれホームアリーナとして活用する姿が望ましい

民間活力導入可能性調査

(1) 調査概要

- 民間活力導入可能性調査では、適用可能な事業手法を抽出し、民間企業意向調査を踏まえたうえで、定性的・定量的評価を行い、総合評価を行う流れで検討を行います。
- 事業手法は、本施設整備の特性を踏まえて、施設建設や管理運営の検討方針について、「貴県の財政負担が軽減されること」「民間ノウハウが効果的に発揮されること」「一定の県民利用が確保されること」の3つの目的が達成できる事業手法及び管理運営手法を選定します。



(2) 各事業手法の解説 | 主なアリーナ施設の事業手法

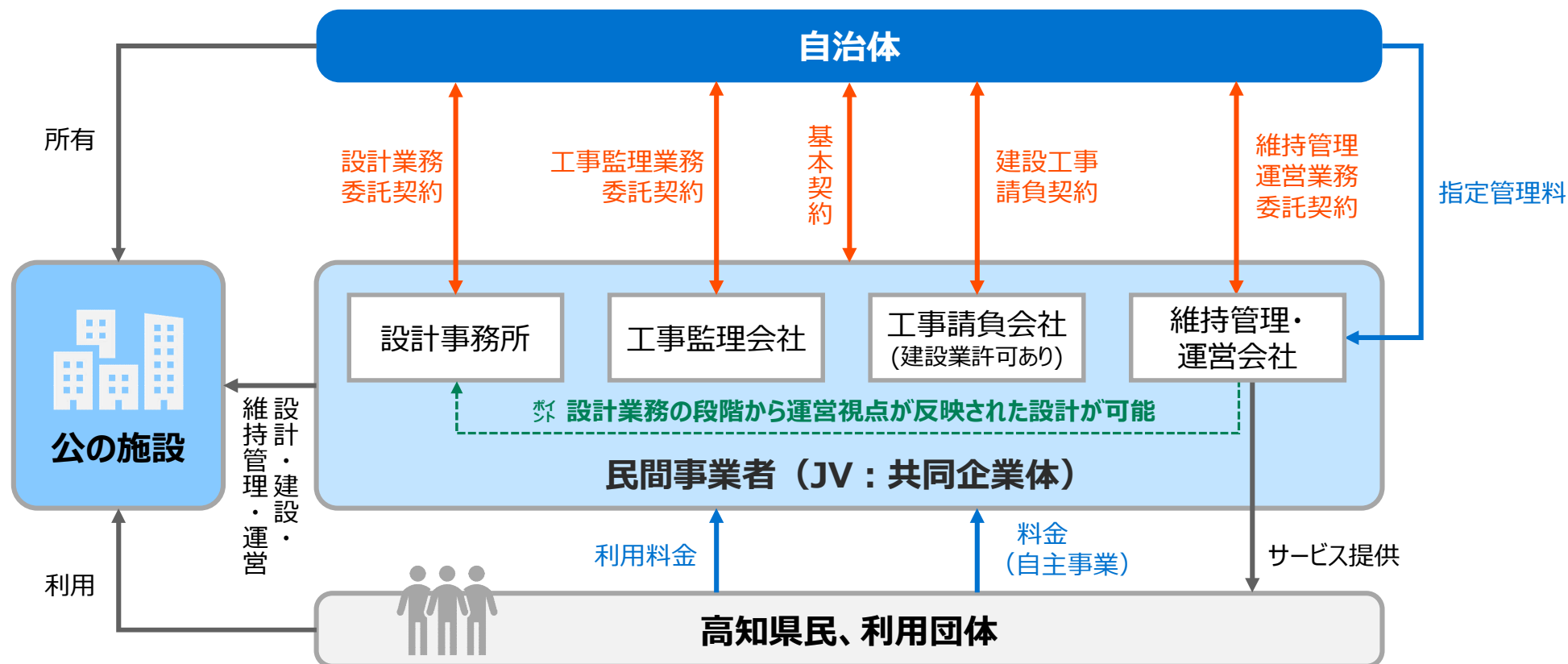
- 公の施設として整備され、指定管理者制度により運営されるアリーナ施設が大半を占めるなか、PFI方式や公共施設等運営権による事業手法によって事業化されているアリーナ施設も増えています。

事業手法及び 管理運営手法	従来手法＋指定管理者制度 又は設計施工一括発注方式(DBO)	PFI（BTO）方式 (Build Transfer Operate)	BT＋公共施設等運営権 (コンセッション)方式
概要	- 公の施設の目的を効果的に達成するため、民間事業者が公の施設の管理を行わせる制度。 - 毎年の指定管理料の支払いが発生する。	- 民間事業者のノウハウや資金を活用して、公共施設等の事業化を行う制度。 - 独立採算ができない場合は、サービス対価の割賦払いが発生する。	- 施設の所有権を公共が有したまま、施設の運営権を民間事業者が有する制度。 - 運営権を抵当権に追加投資と柔軟な運営が実現できる。
根拠法	地方自治法	PFI法	PFI法
事業期間の目安	3～7年※1	15～30年※1	30年※1
先行事例	- 沖縄アリーナ（従来手法） - SAGAアリーナ（従来手法） - オープンハウスアリーナ太田（企業版ふるさと納税） - あなぶきアリーナ香川（設計コンペ＋従来手法） 他多数	- エスフォルタアリーナ八王子(BTO) - ひがしんアリーナ(BTO) - 横浜BUNTAI(BTO) - 北里アリーナ富士(BTO) - 秋田新県立体育館(BTO) 他多数	- 有明アリーナ(コンセッション) - IGアリーナ(BT＋コンセッション) - 新秩父宮ラグビー場(BT＋コンセッション) - 等々力アリーナ(コンセッション) - 富山市総合体育館(Rコンセッション)
民間事業者の負担内容	—	整備運営費 SPC設立経費等	運営権対価
公共負担内容	整備費、指定管理料	整備費、毎年のサービス対価	整備費の一部
適用する場合のポイント	✓ 主に仕様規定による管理運営を行う場合 ✓ 早期に施設を開業する場合 ✓ PFI事業での市場環境が構築できない場合	✓ 主に性能規定による管理運営を行う場合 ✓ 主に県民に対して多様なサービス提供や収益事業を展開する場合	✓ プロスポーツ等のコンテンツが存在し、付帯機能を導入することで収益向上やバリューアップが期待できる場合 ✓ アリーナビジネスとしてのマーケットが事業者の視点で魅力的である場合

※ 1) 法令上、制限がなく、上表には事例ベースの事業期間を記載。

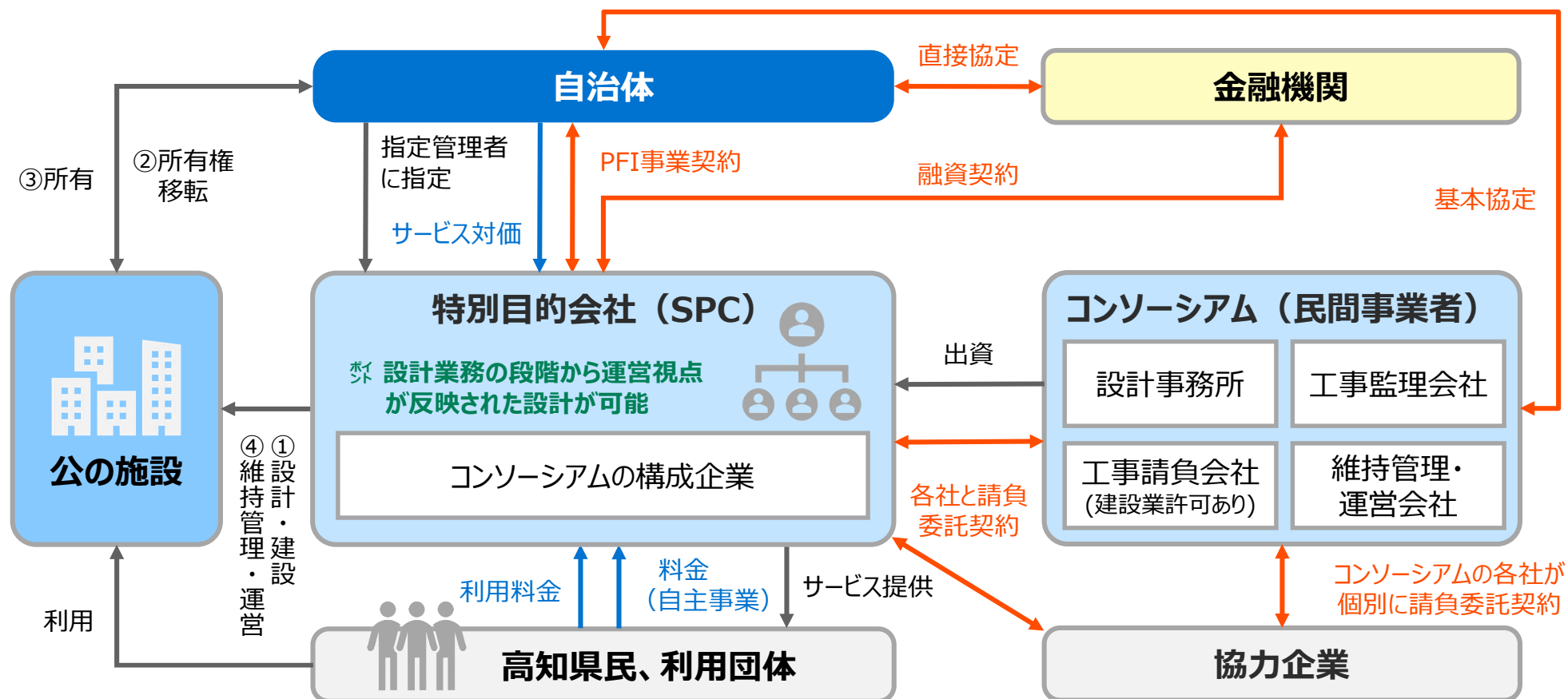
(2) 各事業手法の解説 | 設計施工運営一括発注方式（DBO）

- 設計施工運営一括発注方式（DBO）は、自治体が設計施工と維持管理・運営を一括して民間事業者が発注するもので、従来発注よりも発注手続きが一括で実施することができるため期間を短縮することができます。
- 民間事業者は一定の裁量の中で設計から運営までを実施することから、設計業務の段階から運営視点が反映された設計を行うことが期待できます。
- 資金調達は自治体が行うため、民間事業者は必ずしもSPC（特別目的会社）を組成する必要はなく、JVでの事業実施も可能となります。



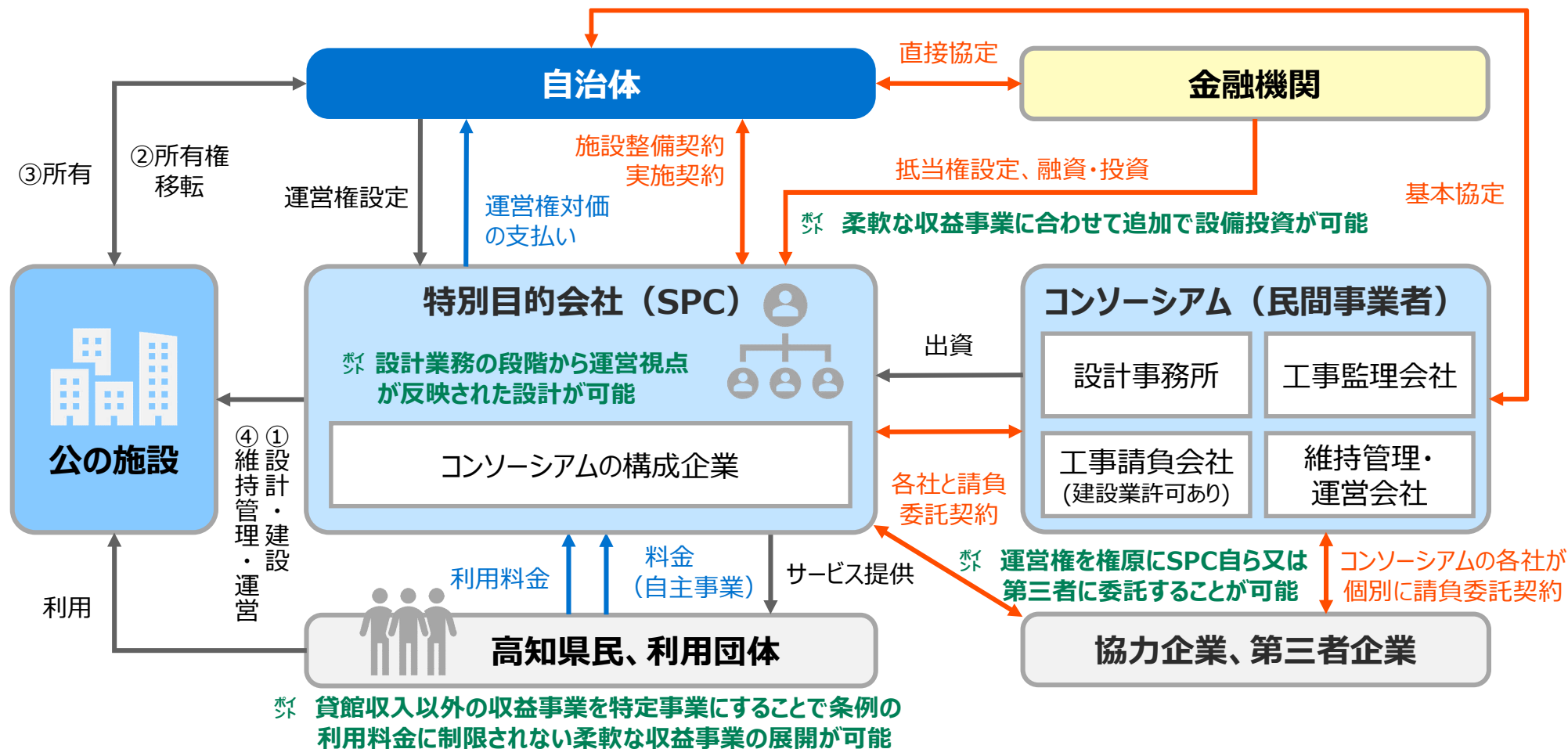
(2) 各事業手法の解説 | PFI (BTO) 方式

- PFI (BTO) 方式は、自治体が設計建設と維持管理・運営を一括して民間事業者が本事業のみを実施するために設立する特別目的会社 (SPC) に発注するもので、自治体は基本協定とPFI事業契約を締結するのみとなります。
- 民間事業者は、整備～維持管理・運営に関わる構成企業がSPCを組成し、SPCから各企業が委託を受けて各業務を実施します。また、事業費を金融機関からプロジェクトファイナンスで調達します。
- プロジェクトファイナンスによる事業を行うことから、特別目的会社の経営状況 (当該施設の運営状況) を明確に把握・モニタリングすることができます。



(2) 各事業手法の解説 | BT+公共施設等運営権（コンセッション）方式

- BT+公共施設等運営権（コンセッション）方式は、自治体が設計建設と維持管理・運営を一括して民間事業者が本事業のみを実施するために設立する特別目的会社（SPC）に発注及び当該施設の運営権を付与するもので、自治体は基本協定のほか、設計建設に係る施設整備契約と実施契約を締結します。
- 運営権を物権として扱うことで、運営権に抵当権を設定し、それを担保に金融機関から融資・投資を受けることができ、また、運営権を権原にSPC自ら又は第三者に委託することができます。



サウンディング調査計画

(1) 調査計画（対象業種、開示資料）

- ・ サウンディング調査は、配布資料を事前送付し、Web会議システムによるオンライン会議又は対面により、ヒアリング形式で実施します。

1. 目的

このサウンディング調査は、新県民体育館の整備・運営等においてPPP/PFI事業の導入可能性の詳細検討に向け、以下の点を検討するため実施するもの。

- ① 本事業に対する適正な競争環境を醸成させるため、貴県に所縁/土地勘のない企業も含めた事業者への本事業の周知とともに本事業への関心の有無を把握する。
- ② 運営企業及び維持管理企業が携わることにより、コスト削減、その他民間ならではの創意工夫・ノウハウ発揮が見込めるか否かを把握する。
- ③ 近年の資材価格の高騰等により特に建設コストが上昇していることや受注状況を鑑み、確実かつ円滑な事業進捗を実現するため、建設企業の参画可能性を把握する。

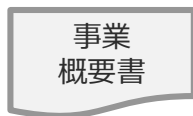
2. 配布資料

本事業の概要を取りまとめた事業概要書を配布する。

ヒアリング協力依頼



協力意向
のある企業



ヒアリング実施



3. ヒアリング候補先

左記の目的を果たすため、建設企業及び維持管理・運営企業に対しヒアリングを実施する。

地元企業については、11/5（水）15時よりオンラインの勉強会を開催予定であり、参画意向についてアンケート調査を実施します。

業種	対象企業数（以下から概ね20社程度に実施）	
建設企業	在京	・ 大手～中堅ゼネコン 10社程度 をピックアップし、PFI事業における代表企業の実績を有する企業を選定
	地元	・ 地元勉強会におけるアンケート調査で 参画意向を示した企業 ・ 県内建設売上の上位企業
運営企業	在京	・ スポーツ施設の運営実績を有する 7社程度 をピックアップし、PFI事業やアリーナ施設の運営実績を有する企業を選定
	地元	・ 地元勉強会におけるアンケート調査で 参画意向を示した企業 ・ 現指定管理者や官民対話で意向を示した企業
維持管理企業	在京	・ スポーツ施設の維持管理実績を有する 3社程度 に打診
	地元	・ 地元勉強会におけるアンケート調査で 参画意向を示した企業 ・ スポーツ施設の維持管理実績を有する 3社程度 に打診

(2) 民間事業者への質問事項

- ・ サウンディング調査で得られた意見を具体的な事業条件や民間活力導入検討に反映できるようにするため、設問と調査対象先（業種）の関係、得られた意見の反映方法について整理しました。
- ・ なお、現時点の検討状況を鑑みると、施設整備計画やコスト情報等といった具体的な事業条件を提示することが難しいため、本事業への関心や民間ノウハウの発揮余地を中心とした意向把握となります。

質問事項	質問内容	調査対象の企業				調査結果の反映先	
		建設	運営	維持管理	地元	事業条件	民間活力導入
本事業へのご関心	・ 立地及び規模の観点から本事業への関心の有無を教えてください。また、どのような点にご関心を持たれたか教えてください。 ・ 関心がない場合は、その理由を教えてください。	○	○	○	○	—	○
ご関心のある業務範囲・立場	・ 関心のある業務範囲を教えてください。 ・ また、どのような立場（代表企業等）での参画が可能かも併せて教えてください。	○	○	○	○	○	○
対象施設及び周辺地域のポテンシャル	・ ポテンシャルを感じられた要素について教えてください。	○	○	○	○	—	○
民間事業者のノウハウが期待できるポイント	・ 本事業に活用・発揮できる民間ノウハウ（例：高知県で展開できそうなコンテンツ、イベント等といったバリューアップやサービス向上）について、教えてください。	○	○	○	○	—	○
民間施設の導入可能性	・ 本施設に、飲食物販施設等の施設誘致が期待できるかどうか教えてください。 ・ 誘致が難しい場合はその理由も併せて教えてください。	—	○	—	○	—	○
本事業における望ましい事業手法	・ 本事業に参画される場合に望ましいと考える事業手法について、理由と併せて教えてください。	○	○	○	○	○	○
事業スケジュールに対するご意見	・ 事業スケジュールに対する所感を教えてください。	○	○	○	○	○	—
本事業への課題・懸念点等	・ 本事業に対する課題・懸念点について教えてください。	○	○	○	○	○	○
県への要望等	・ 高知県への要望や意見等があれば教えてください。	○	○	○	○	○	—